

下郷町の感動風景をめぐる、秋の撮影旅

2023 秋 福島県下郷町おすすめ紅葉撮影スポット情報

福島県下郷町

福島県の南会津に位置する下郷町では10月中旬～下旬にかけて紅葉が見頃を迎える。下郷町には茅葺き屋根の民家が街道沿い両側に建ち並び、今なお江戸時代の宿場町の面影を残す「大内宿」や高さ70mの奇岩が幅約100mにもわたりそそり立つ「塔のへつり」、また、広さ約30ヘクタールの広大な敷地に約8ヘクタールの湖を持つ「観音沼森林公園」は豊かな自然と水が織りなす風景を楽しめる遊歩道公園などがあり、下郷町は伝統文化と共に、四季の自然の豊かさを感じ取れる町である。



秋の観音沼森林公園

標高900mにある観音沼森林公園の紅葉はモミジやナナカマドの紅葉樹が赤や黄色に色づき、水面を鮮やかな秋色に染める光景を求め、福島県内外から多くのカメラマンや観光客が訪れる人気スポットになっている。90台収容の町営無料駐車場や公衆トイレもあり、車でのアクセスも便利。



観音沼駐車場から望む秋の雲海

日中と夜の気温の寒暖差が激しい秋の早朝は雲海の発生率が高くなる。観音沼森林公園駐車場は標高800mの高所であるため、眼下に広がる雲海を見ることができる。



日暮の滝と紅葉する木々

また、観音沼森林公園を大峠方面へ4km先のところに、高さ約40mと約15mの二つの滝が縦に連なる会津を代表する名瀑布「日暮の滝」がある。この大峠へ向かう道は江戸時代、会津と江戸を結ぶ会津中街道と呼ばれていた。当時、この場所で休む旅人が「日が暮れるまで、一日中眺めていても飽きない美しさ」と言い、この名が付けられた。言われの通り、秋の紅葉時期には鮮やかに色づいた木々の衣を纏うように、滝の水が流れる様は見事である。滝壺まで下れる遊歩道があるが、現在は滝壺への立ち入りは禁止になっているが、鑑賞や撮影できるスペースは十分にある。また、車での日暮の滝へのアクセスは、大峠沿いに日暮の滝展望駐車場があり、乗用車5台程度、駐車できるスペースがある。この駐車場からも日暮の滝を眺望、撮影（望遠要）できる。



朝霧に煙る大内宿の朝

福島県内でも超人気の観光スポット「大内宿」の秋はまさに四季を通してベストシーズン。10月の平均最高気温は17°で観光にも撮影にも最適な気候。大内宿を囲む山々が赤や黄色に色づき、茅葺き屋根の民家が立ち並ぶ光景は、まさに時代をタイムスリップしたのかと思わせる。この時期の早朝に大内宿を訪れると、茅葺き屋根についた霜が朝日に照らされ、湯気が立ち上る光景を目にすることができる。また、この茅葺き屋根の民家は現在でも町民の住居としてと使われているため、朝の雨戸開けや、店先の掃除、子供達の登校風景などを見ることができ、古き良き時代の日本の生活を感じるノスタルジックな時間を味わえる。



秋の塔のへつり

他にも、巨岩怪石がそびえ立つ「塔のへつり」をはじめ、茅葺き屋根駅舎の湯野上温泉駅、下郷町中心部を流れる大川渓谷、黄金色に輝く稲穂の田園風景など、下郷町には四季折々に出逢える「感動風景」が残っている。



フォトナビ下郷 TOP ページ

下郷町では「エモーショナル下郷 / 感動風景をめぐる撮影旅」と銘打って、一般観光客やカメラ愛好家に向けた撮影観光を提案している。下郷町への撮影訪町者に対し、便利な撮影情報ポータルサイト「フォトナビ下郷」を開設した。サイト内では、下郷町のおすすめ撮影スポットや宿泊先、昼食等の飲食店、お土産、名産品のショッピング情報を集約し、撮影観光に役立ててもらう。ポータルサイトは、おすすめの撮影スポットや宿、飲食店の位置情報が連動し、車などでの移動ルートも案内できる。また、最新の撮影情報をサイト内のお知らせやSNSでも随時更新。下郷町の担当者は、「今後もサイト内の情報やカテゴリを充実することで、下郷町への撮影観光での訪問者を増やし、町内の活性化に繋がっていきたい!」と意気込んでいる。



撮影スポット等位置情報マップ



下郷町観光 PR 動画 秋冬総集編

関連サイト：フォトナビ下郷：<https://photonavi-shimogo.jp/>

下郷町役場：<https://www.town.shimogo.fukushima.jp/>

■本件に関するお問い合わせ先

下郷町総合政策課商工観光係

〒969-5345 福島県南会津郡下郷町大字塩生字大石 1000 番地

Tel 0241-69-1144 Fax 0241-69-1167

E-mail kankou_01@town.shimogo.fukushima.jp